



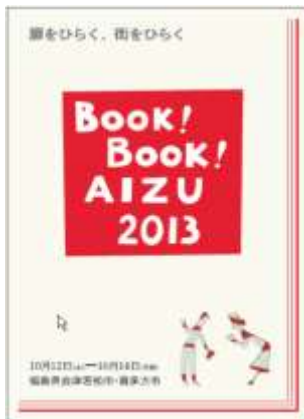
Book ! Book ! AIZU 共催イベント「扉をひらく 1 冊展」



本を通して「ひと」と「まち」とが結びつくイベント「Book ! Book ! AIZU」。3 年目となる今年は「扉をひらく、街をひらく」をテーマに 10 月 1 日～10 月 30 日（メインイベントは 10 月 12 日～14 日）会津若松市と喜多方市で開催されます。会津図書館では共催企画として「扉をひらく一冊展」と題し、作家・編集者など本に関わる方々が選んだ 1 冊を紹介・展示します。（期間：平成 25 年 11 月末まで）

●選書家とタイトル

- 石川直樹（写真家、探検家。2001 年世界 7 大陸最高峰登頂を達成）
『富士山にのぼる』石川直樹著
 - 北方謙三（作家。『楊令伝』で毎日出版文化賞特別賞を受賞）
『シロは死なない』北方謙三著
 - 桜木紫乃（作家。『ホテルロイヤル』で第 149 回直木賞を受賞）
『真相』横山秀夫著
 - 島本脩二（元小学館の編集者。『日本国憲法』の企画・編集に携わる。現在はフリーの編集者として活躍。）
『日本国憲法』写楽編集部編
 - 堂場瞬一（作家。警察小説『高城賢吾シリーズ』等、スポーツ小説など著書多数）
『遙かなるセントラルパーク 上・下』トム・マクナブ著
 - 中村航（作家。「ぐるぐるまわるすべり台」で第 26 回野間文芸新人賞を受賞）
『哀愁の町に霧が降るのだ』椎名誠著
 - 松岡正剛（編集工学研究所所長、活動は執筆、講演、私塾主宰など多岐にわたる）
『ゲーテとの対話 上・中・下』エッカーマン著
 - 森見登美彦（作家。「夜は短し歩けよ乙女」で第 20 回山本周五郎賞受賞）
『ご冗談でしょう、ファインマンさん 上・下』リチャード・P・ファインマン著
- イベントの詳細は「Book ! Book ! AIZU 2013」公式 HP をご覧ください。
公式ホームページ <http://bookbookaizu.info>



「本」のある風景

読書の秋にちなみ、図書館や書店・ブックカフェに関する本、作品を楽しむための本を展示しています。

本を読んだ後に、絵本に出てくるレシピを作ったり、作品の舞台を訪ねたり…。読むだけではない楽しみ方を見つけてみませんか。展示図書リストも配布しています。

期間：平成 25 年 11 月末まで



展示コーナーおすすめ本①『ぼくは、図書館がすき』

濑原宏 日本図書館協会 [016.2/ウ]

10 年にわたって全国津々浦々の図書館を撮影した写真集。図書館に関わる人たちの表情が豊かでとても魅力的。著者の“図書館がすき”という思いが強く伝わる 1 冊です。

展示コーナーおすすめ本②『作家のおやつ』

コロナ・ブックス編集部 平凡社 [910.2/サ]

三島由紀夫、向田邦子、開高健、檀一雄、手塚治虫など 31 人の作家たちが日頃食べたお菓子や果物を紹介。他に食卓、酒、犬、猫、旅があり作家が身近に感じられるシリーズです。



新 着 資 料

〈文芸書〉

- 『図書館の魔女 上・下』 ※第45回メフィスト賞受賞作
高田大介/著 講談社 [F/タ]
『光秀の定理 (レンマ)』
垣根涼介/著 角川書店 [F/カ]

〈趣味・教養書〉

- 『覚悟の磨き方—超訳吉田松陰—』
池田貴将/編訳 サンクチュアリ出版 [289.1/ヨ]
『未来の働き方を考えよう—人生は2回、生きられる—』
ちきりん/著 文藝春秋 [366.0/チ]
『季節七十二で候。』
大田垣晴子/著 メディアファクトリー [449.3/オ]
『お母さん入門—おばあちゃん整体師が伝えたい子育ての知恵』
天谷保子/著 WAVE出版 [599/ア]
『井上ひさしと考える日本の農業』
井上ひさし/著 山下惣一/編 家の光協会 [612.1/イ]

〈会津の本〉

- 『会津名君の系譜』
原口泉/著 ウェッジ [092.8/ハ]
『オンテンパール八重—会津の美空に咲く桜—』
高見沢功/著 アクト [092.8/ニ]

新しい朗読CDが入りました!

小さい文字が読みにくくなった、本を読む時間が無い…などそんな皆さんにおすすめです。

聞いて楽しむCDはいかがですか。

「娘が読む 娘と私—檀一雄エッセイ集—」

檀 一雄/著 檀 心み/朗読

「娘が読む 食味風々録—」

阿川 弘之/著 阿川 佐和子/朗読

「家紋」

松本 清張/著 市原 悦子/朗読

「博士の愛した数式—ラジオドラマCD—」

小川 洋子/著 柄本 明、中嶋 朋子/朗読

「ぼくの愛読詩集」

さだまさし/編・朗読

「シャーロック・ホームズ 緋色の研究」

コナン・ドイル/著 永井 一郎ほか/朗読

「シャーロック・ホームズ 四つの署名」

コナン・ドイル/著 永井 一郎ほか/朗読

ティーンズコーナー担当者おすすめ



『源氏物語 紫の結び』1

萩原規子/訳 理論社

2013.8 [Y913.3/ム/1]

この「源氏物語」は読みやすくまた理解しやすいように、あえて原典の順番を換えています。物語にちりばめられている趣や美しさは損なわれてはいません。手にとっては挫折していた方にもおすすめします。次が待ち遠しくなる1冊です。



『庭師の娘』

シークリット・ラウベ/作

若松宣子/訳 岩波書店

2013.7 [Y943/ラ]

このお話の舞台は18世紀のウィーン。庭師になる夢を持つマリーですが、修道院に入り看護婦になると父に決められていました。まだ女性は自分で自分の職業を選べない時代ですが、マリーは庭師としての才能を発揮し認められるようになります。

こちらも
どうぞ!



『中学野球太郎 vol.2 特集レギュラー定着集中講座 2013』

廣済堂ベストムック 廣済堂出版

2013.7[Y783.7/チ/2]



『中学サッカー小僧テクニカルドリブル編』

中学サッカー小僧編集部

白夜書房 2012.3[Y783.4/チ]

ティーンズコーナーからのお知らせです!

10月末から始まる秋の読書週間に合わせ、ティーンズコーナーにおいて、若松三中の図書委員の方々から寄せられたおすすめ本の紹介を行います。ご期待ください!